

稲 作

平成24年度 北海道米分析事業の取組状況・品質傾向について

平成24年12月  
社団法人 北海道米麦改良協会 業務部

1. 事業概要

- (1) 本会では JA 北海道中央会からの委託事業として、北海道米の食味に関する成分（精米タンパク質含有率・アミロース含有率等）の分析・データ蓄積を北海道米分析センター（岩見沢市上幌向）にて行っております。
- (2) 主に、全道広域から偏りのないサンプルを一定量、収集・分析を行い栽培技術の向上や新品種開発に寄与するデータを試験研究機関に提供するとともに、販売上必要なデータの提供を行っております。

2. 24年産米の分析状況・品質傾向について

- (1) 24年産米については全道で3,024点（うるち米100ha当り約3点）の分析計画となっており、12月17日現在1,681点（進捗率約56%）の受付実績となっています。
- (2) 主要品種の「ゆめぴりか」「ななつぼし」の分析結果（12/17現在）は【図3】のとおりであり、精米タンパク質含有率・アミロース含有率の平均値は昨年とほぼ同様からやや低い傾向となっています。
- (3) 本年の「ゆめぴりか」のアミロース含有率の分布状況は【図1】のとおりとなっています。

【考察】

・アミロース含有率の分布については23年産

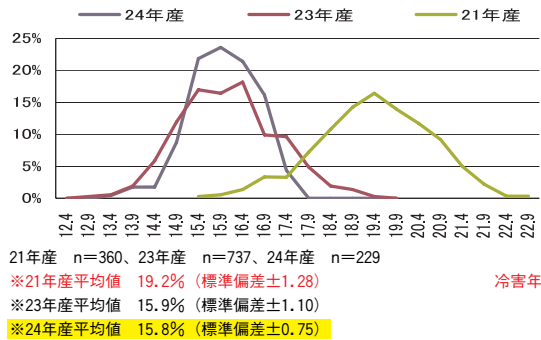


図1 ゆめぴりかアミロース含有率の分布状況

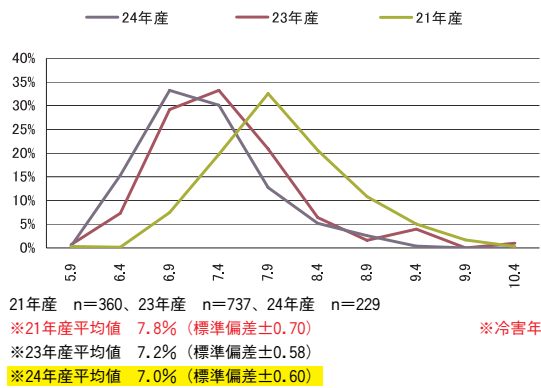


図2 ゆめぴりか精米タンパク質含有率の分布状況

とはほぼ同様の分布を示しており、標準偏差（バラツキ）は小さくなっている。

- ・要因としては、登熟期の積算温度が全道的に平年以上に確保され、地区間の差も少なかったことが考えられる。
- ・23・24年産とも大半のサンプルの分析値が19.0%以下となっており、冷害年であった21年産と大きく傾向が異なっている。

- (4) また、本年の「ゆめぴりか」の精米タ

図3 「ゆめぴりか」「ななつぼし」分析データ平均値

【24年産】

単位：%

【参考・23年産】

	分析点数	タンパク質含有率平均	アミロース含有率平均
ななつぼし	200	7.0	18.8
ゆめぴりか	229	7.0	15.8

23年産タンパク平均値	23年産アミロース平均値
7.1	20.0
7.2	15.9



写真1 インフラライザーによるタンパク質含有率測定の様子

ンパク質含有率の分布状況については【図2】のとおりとなっています。

【考察】

- ・タンパク質含有率についても23年産とほぼ同様の分布を示しており6%台半ば～7%台半ばに分布のピークがある。
  - ・要因としては、不稔が少なかったことや登熟環境が良好であり、登熟歩合が上昇したことなどが考えられる。
  - ・冷害年の21年産は分布のピークが7%台後半にあり、23・24年と大きく異なっている。
- (5) 上記のデータが示すように、冷害年ではタンパク質含有率・アミロース含有率とも高まり、出荷基準を満たす米穀が大幅に少なくなることが懸念されます。

### 3. 産地 JA・生産者の皆様へ

- (1) 24年産米の分析に係り、各JAの皆様へは12/15期限でサンプルの提出をお願いしておりますが、現在、6割弱の提出状況と

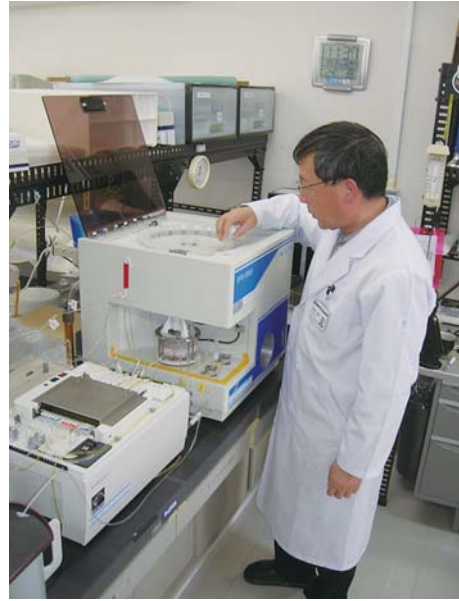


写真2 オートアナライザーによるアミロース含有率測定の様子

なっております。

- (2) 高い事業成果をあげるためには、計画に基づくサンプル収集・分析を行いデータ蓄積・解析作業を進めていくことが必要であるため、まだ提出が完了されていない地区におかれましては早めの提出をお願い致します。
- (3) 近年の北海道米については「ゆめぴりか」「ななつぼし」が特Aランクを獲得するなど、評価も向上しておりますが、今後の生産・販売環境の変化に対応していくべく、引き続き、分析により品質を把握し、これに基づく技術対応を図っていくことが必要であります。

以上